

新宮山彦ぐるーぶ第1970回

春季連休前の事前準備作業など

その一、池郷林道・白谷林道の走行確認と持経宿訪問

◇実施日：2018年04月22日(日) 快晴

◇参加者：村吉光夫・沖崎吉信。

2名。

その二、南奥駆道(行仙岳↓俱利伽羅岳)の点検巡視

◇実施日：2018年04月22日(日) 快晴

◇参加者：生熊敏男。

1名。

その三、行仙宿へ事前荷上げと宿内・管理棟内の在庫調査

◇実施日：2018年04月24日(火) 曇り後小雨

◇参加者：樋口義也、川島 功。

2名。

計5名。

池郷林道・白谷林道の走行確認と持経宿訪問

(池郷林道乗入れに目途・志納金がえらいこっちゃ！)

大型連休を前に小屋番の入宿や来山来宿者の対応もあり、林道の走行乗入れが可能なのか大変気になり、白谷林道から入り持経宿から池郷林道ゲート迄でも、荒れ具合の下見の必要性から一人バイクで出掛けることにした。

前日、熊野修験(本宮→玉置山)サポートで生熊さんと会い「24日の行仙宿への行事が雨予報で中止となった事もあり、明日一人でモノレールの点検と転法輪岳か俱利伽羅岳位まで足を伸ばし奥駆道の巡視に向く」との話があった。又、夕方には村吉さんから電話が入り「明日一泊で持経宿に入る」とのこと。当方の予定を話し持経宿で合流を決めた。途中、池郷林道の崩落工事現場の下見もお願いして段取りを整えた。

当日7時に出発し8時10分浦向の三叉路に着く。同じ時刻に自宅を出た生熊さんも、まもなく着くかと待機するも現れないので行仙宿に向け出発した。

2.5 km先の實利行者供養塔まで来た時、前の広場で椅子を並べ

祭りの準備をされている、今日が實利行者祭りかと気付く。うっかりしていたので浦向に戻り、ヒラモリ商店でお供の酒2本を調達し、祭り準備の方にお供えを渡し再出発。

9時少し前に行仙宿登山口に着くと生熊さんの車がある。昨日の打合せで、最終モノレールを林道にデポするため、カバーや軽油・オイルも併せてデポをお願いしておいたので、それらも降ろされて出発された様だ。大声で「生熊さん！」と声をかけるも返答ない、行仙宿とモノレールの件は、生熊さんに任せ白谷林道ゲートへ向う。9時少し過ぎにゲートから白谷林道に入る。一時間近く要して10時頃に持経宿に着いたが、7kmポイントの少し手前と8kmポイント過ぎの二ヶ所の計三ヶ所の路面が特に大荒れで、前回(3)ことさほど変っていない。荒れが進んでいるとは思われないが、トラックか四駆車しか乗入れ出来ない状態だ。落石は、前回片づけたので少ない。

村吉さんの方が先に着いているはずだが居ない。15〜20分待っても来ないのでメモを残して、池郷林道ゲート迄下見に出発する。三叉路から400〜500位は、落石もない、このままかと思つたが、そうはいかない。

それから先は(3)の白谷林道同様、100位進んだら落石又、落石の連続だ。バイクの為、片付けることも無く進めるが、2km位進んだ時、巨石が(ドラム缶3個位)落ちていて、それが木を巻き込んで道に塞がっていて、バイクでも通り抜けられない。鋸で枝や除けられる落石を処理して通過した。

そこから500位進んだか、三叉路とゲートの間地点位だ。前に村吉さんが車を止め、落石除去の作業をしている。

崩落現場はどうだったのか、ゲートから此処まで来られているので、まあびつくりであり早速話を聞く。

道路上の土砂も撤去され、全面ネット張りも完了した。吹付工事その後3日で完了、4日目に片付けを行い、425(金)より通行可能とのこと。

そのまま現場に行くと、今日は日曜日で工事も休みで通過出来たので、そのまま此処までやって来た。8時頃より池郷林道に入り、此処まで2時間30分要した。30回位車から降りて落石処理をしたとのことである。

合流後、この地点から持経宿まで二人で落石処理を行い、昼飯も食わずに持経宿に到着したのは、13時過ぎであった。

村吉さんは5時間、沖崎は3時間、延8時間を要し、やっと通行の目途をつけた。

巨石落下箇所は、周りの木や石を片付けて、ぎりぎりで通行出来たのはラッキーだった。あとを村吉さんに頼み、池郷林道経由で下山した。

(志納箱について)

3\2持経宿訪問時、志納箱に3,500円を確認し回収せずに次回とした。その後、6人宿泊もあり2万位あるかと、本日志納箱を開けたら千円札2枚と500円玉2個の計3,000円しかない。

前回より減っているではないか。平治宿も昨年5月末以後、全く志納金がない。先月、行仙宿でも2,000円しかない。この時期来宿者は少ないが、こんなことは考えられない。昨年、行仙宿から高性能ラジオやインパクトが盗まれている。

志納箱内の志納金が盗まれたのは間違いがない、皆さんも気をつけて下さい。志納箱の改造、鉄製に取替等を思案中である。

(記：沖崎)

南奥駆道(行仙岳↓俱利伽羅岳)の点検巡視

本日予定の我が地区行事が、直前に中止となり予定が狂ったのを幸いにトレーニングを兼ねて行仙に行つて来ようと思いついた。ついでに、以前聞いていたモノレールの調子(駐機場内に停止させた時に少し後退)と前回雨天で取り止めになった行仙岳↓持経宿間の点検巡視を出来る所までやって見ようと又、連休の荷揚

げを少しでもと、理由を話して沖崎宅でチェンソーを受け取り行仙宿へ走った。

前日打ち合せた別行動の沖崎さん(池郷林道点検)と登山口到着を待たずに、少しでも時間を稼ごうと行仙宿小屋に急いだ。

9時過ぎの気温は、18℃となっている。宿内に入ると一人の登山者、聞けば京都の方で山彦もお世話になっている関本俊雄氏のお知り合いとのこと、本宮から入って昨夜ここに泊ったとのこと。話には良く聞いていたが、行仙宿は初めてらしい、これから浦向に降りてバスで帰ると言われた。

出来るだけ足を延ばそうと気が急ぐが、足が鈍い上にこの暑さ、山彦安全ヘルメットが汗で滑って前へ行ったり後ろに行ったり忙しい。行き会う登山者(3名)に道の様子を伺いながら先へ進む。

行仙岳から怒田の宿迄の間で二カ所に枯木が在り、チェンソーを必要とした。

更に怒田の宿から進むこと20分程の所には、完全に道を塞いだブナと思われる大木が横たわっていた。幸い道を塞いでいる部分は、根元の方でなく枝分かれ部分で、腕の太さがせいぜいだが、本数が多いのでチェンソーで処理した。後で聞いたのであるが、この倒木は、昨秋台風後に歩かれた椎木会員さんが、指摘報告されていた倒木の様である。場所がいいので比較的楽に切除出来た。ここから先は、登山道の状態も良く、手鋸で処理出来た倒木が一ヶ所だけあった。

帰りの足を考え俱利伽羅岳手前で引き返す事にした。帰りは行仙岳捲き道を通つたが、倒木は無かったが道の修繕箇所が何ヶ所かあった。

15時前の行仙宿入口の温度計は、直接陽が当たっている加減もあるが、28℃を指しているのを横目に下山した。

モノレールを林道沿いに降ろして点検すると、サイドブレーキのワイヤーが切れている。これでは傾斜のある所では、駐機は難しいだろう。新しいワイヤーに取り替えるだけで良いと思われる。

その報告を兼ねて沖崎宅に立寄ってから帰路についた。後日、沖崎さんは、寄贈設置して頂いた(株)カマハラテックに児嶋氏と赴き聞いたところ「後退は、ブレーキシューの錆か磨耗」が原因とのこと、ブレーキシューの調節ナットの締め増しで直るとのことだが一寸難しいとのこと。交換を含めて点検調製をお願いしたとのこと。

(記：生熊)

行仙宿へ事前荷上げと宿内・管理棟内の在庫調査

22日(日)は、最終回・第34回イワチドリ・山草展示会(会長：児嶋、会計：川島)があり、山彦の行事企画を外し24日(火)に行事を企画したが、前線通過による雨予報の為に行事を中止にした。

だが聖護院が9月初旬実施の南奥駆修験行の下見山行(25日)に草分氏他5名が「前鬼から入山し行仙宿に宿泊」との連絡を受けた。その際、前鬼から行仙宿に着く時間が遅くなると想定され、行事で行仙宿に入るので「水場の水を汲んでおく」との連絡した手前から、雨でも行仙宿に一人で行き水を確保する事にした。

前日に樋口氏から荷上げを手伝うとの連絡があり、行事を中止したが雨でも行くが・・・同行してくれることになる。

熊野尾鷲道路の大泊の傍の駐車場で、7時50分に樋口氏と合流する。

飛鳥地内に入ると小雨が降り出し、登山口に9時前に到着し、雨具を着用する。

モノレールは林道沿いに駐機されていたが、駐機場に保管のエンジンキー取りに川島が往復する間に、樋口氏がポリタンク7L・2個に登山口傍の谷水を補給する。

モノレールの燃料とオイルを確認すると満杯で、最後に降ろした生熊さんの配慮が行き届いている。

連休中の食料(サトウの御飯)+インスタント味噌汁+食分+食用油1L+シーチキン缶詰+玉葱+聖護院への差し入れ(スポーツ飲料)+カラーと紅甘夏柑)+缶ビール∞本の計約14kgと水

のポリタンク2個を積み込む。



荷上げ品積み込み



濃い霧の中を登る



荷上げ

モノレールで登るほど霧が濃く漂う。雨は小雨で、ゆっくり登り行仙宿に9時40分に到着。雨具着用の為、びっしょり汗をかいた。

樋口氏に宿内・管理棟の紙食器類と食料の在庫調査を頼み、川島は水場へ降りる。水場径の栈木段差の取替要が3箇所あった。

水場は、僅かにオーバーフローして流れ、やや大きい石を1個除去した。水7Lポリタンを担ぎ小屋に10時半に戻る。結局、水7Lポリタン2個が在り、本日3個補給した。

小屋に戻り発電機の燃料を確認。発電機に給油して5Lのガソリン缶が在庫、空になった5Lガソリン缶は補給に降ろす。

その後、管理棟内を整理する(ストーブは資材倉庫へ、ザイルは棟下に保管)。

この間に樋口氏は、宿内・管理棟内の在庫一覧表を書き出して下さる。一人だと倍の時間が掛るだけに樋口の参加に感謝である。聖護院への差し入れが判る様にメモを書きを置く。

1時半頃より昼食にする。昼からは雨が強くなるとの予報であり、早目の12時過ぎに下山する、モノレール終点の尾根のシヤクナゲが咲き始めている、13時前に登山口に到着。小雨が上

がり始め、林道を抜け国道425号線の白谷トンネル寄りの展望場所で樋口氏のデコポンを賞味し小休止。



水場は少しの流れ



下山前に撮影



シャクナゲ咲く

下山後、下北山村役場・産業建設課へ表敬訪問し、池郷林道の崩落工事進捗を再確認した。この雨で本日と明日2日の吹付け工事が延期になるが、今週末には通行止めが解除になる事を確認した。尚、国道425号線の白谷トンネル補修工事が、5月12日(月)～7月13日(金)迄の間は、時間制限通行止めになるとのこと。
帰路沖崎宅に立寄り、在庫調査の結果と29日に荷上の調達品を連絡して帰宅した。

行動タイム

熊野・大泊IC傍P7:50→8:55登山口9:05→9:40行仙宿10:00→水汲み→10:30行仙宿12:15→12:55登山口→13:20下北山村役場・表敬訪問13:45。

(記：川島)